

映画
「みんなの学校」
の本

2万人が涙した大ヒットドキュメンタリー映画「みんなの学校」
初代校長が明かす子どもと教職員、保護者、地域の人々の9年間の軌跡

「みんなの学校」が 教えてくれたこと

学び合いと育ち合いを見届けた3290日

大阪市立大空小学校 初代校長 木村泰子 著



木村泰子（きむら やすこ）
2006年に開校した大阪市立大空小学校初代校長。
「みんながわかる みんなの学校」を台言葉に、すべての子どもを多方面から見つめ、全教職員のチーム力で「すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる」ことに情熱を注ぐ。2015年春、45年間の教職歴をもつて退職。現在は全国各地で講演活動に多忙な日々。

不登校ゼロ、
すべての子どもが共に学ぶ
「奇跡の小学校」の原点とは…

たちまち
4刷！



好評発売中！

定価：本体1,400円＋税
四六判並製／208ページ
ISBN978-4-09-840163-5

映画「みんなの学校」とは…

大空小学校がめざすのは、「不登校ゼロ」。ここでは、特別支援教育の対象となる発達障害がある子ども、自分の気持ちをうまくコントロールできない子ども、みんな同じ教室で学びます。

ふつうの公立小学校ですが、開校から6年間、児童と教職員だけでなく、保護者や地域の人ともいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を作りあげてきました。

すぐに教室を飛び出してしまう子ども、つい友達に暴力をふるってしまう子ども、みんなで見守ります。

（中略）

このとりくみは、支援が必要な児童のためだけのものではありません。経験の浅い先生をベテランの先生たちが見守る。子供たちのどんな状態も、それぞれの個性だと捉える。そのことが、周りの子供たちはもちろん、地域にとっても「自分とは違う隣人」が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培っています。

映画は、日々生まれかわるよう育っていく子供たちの奇跡の瞬間、ともに歩む教職員や保護者たちの苦悩、戸惑い、よろこび…。そのすべてを絶妙な近さから、ありのままに映していきます。

そもそも学びとは何でしょう？ そして、あるべき公教育の姿とは？

大空小学校には、そのヒントが溢れています。みなさんも、映画館で「学校参観」してみませんか？

以上「みんなの学校」公式HPより

この本を当日、特別価格で販売します。

木村泰子「みんなの学校」を語る in 西宮

～大阪市立大空小学校の実践から～

西宮教育通信

2015.12.25

西宮市教職員組合

TEL0798-34-2341



きむらやすこ
木村泰子さん(元大空小校長)

「みんなの学校」上映会&教育講演会

と き：2016年1月13日(水) 開場 15時

映画 15時30分開演 講演 17時25分開始 19時終了

ところ：西宮市民会館アミティホール

主 催：西宮市教職員組合 (TEL0798-34-2341)

後 援：公益財団法人西宮市文化振興財団

映画、講演とも入場無料、申し込み不要

木村泰子さんからのメッセージ

学校はあるものではなく、つくるものです
学びの主体の子どもが自分の学校を自分がつくる
子どもが学ぶ学校を保護者がつくる
地域の宝が学ぶ学校を地域住民がつくる
教職員が働く学校を自分がつくる
みんなで学校をつくるって楽しいですよ
すべての子どもが安心して学びあえる「地域の学校」を
みんなで作りましょう

2016年の教育講演会は
映画「みんなの学校」を上映、
引き続き元大阪市立大空小学
校長の木村泰子さんのお話を
お聞きます。
支援を要する子もそうでない
子も一緒に育つ大空小の教育
活動を推進した木村さんのお
話から子育てや教育論だけだ
なく、人権意識や地域活動につ
いての学びが感じ取れること
でしょう。
ご参加お待ちしております。

市民、保護者のみなさん、こんにちは。
西宮市教職員組合は永年にわたり教育講演会を開催し、みなさんと一緒に西宮市
における子育てや教育について考えてきました。
これまでに妹尾河童さん(『少年H』)、乙武洋匡さん(『五体不満足』)、遙洋子さん
(東大で上野千鶴子にケンカを学ぶ)、朝原宣治さん(オリンピック陸上競技メダリ
スト)など各界の著名人をお招きし、それぞれの立場や経験からお話しいた
だく内容に多くのことを学んできました。